

特定非営利活動法人 シャプラニール＝市民による海外協力の会

事業名

生活支援事業

多文化共生の
意識啓発事業

新宿区における脆弱性の高い在住外国人の ためのフードパントリーを窓口とした生活支援、 および、地域とつながる居場所づくり事業

取組内容

生活課題を抱える在住外国人を**住民**とともに支える「**地域内の助け合い仕組み化**」を目指し、活動①フードパントリーを窓口とした**生活支援**、および②地域とつながり、地域での助け合いの輪を広げるための**居場所づくり（各国の料理づくりを通じた交流会等）**を実施した。

◆ 事業期間

令和5年4月1日～
令和6年3月31日

◆ 参加人数

活動① 計94名
活動② 計132名

活動①

- ・ 開催回数：令和5年4月～令和6年3月の期間に4回実施
- ・ 出身国数：9カ国以上（出身国未確認参加者含む）

活動②

- ・ 開催回数：14回



親同士、子同士仲が深まる

効果

日本人と繋がりがもてなかった在住外国人、および、在住外国人と関わりをもてなかった同じ地域の住民が、交流を通じて相互を理解し、両者が**恒常的に助け合うような素地**を形成することができた

事業を振り返って

代表理事 坂口和隆さん

本居場所が形成されても、生活に追われたり、社会的孤立のため、リーチできない層の存在を再確認しました。特に、子育て世代の母子において相談先や正確な情報が乏しい状態が特に著しく見受けられます。

今後は、地域住民の参加をさらに促す等地域を巻き込む形で、母子を含め外国人の孤立を防ぐ体制づくりをめざします。